

## ミコアイサ (カモ科) 全長42cm

オスの顔立ちがパンダに似ていることから、バードウォッチャー仲間では「パンダガモ」と呼ばれ、親しまれています。

寒さが厳しくなる晩秋、冬鳥として県内の湖沼河川に多数飛来するが、大仙市内では少数です。今シーズン、大浦沼で初確認されたのが11月13日でした。よく見られるカルガモ、マガモよりは一回り小さく、警戒心が強いことから撮影には苦労します。



オスはパンダに似ている？ 確かに似ています。

オスの体は白っぽいので、遠目でもよく目立ちます。目の周りが黒く縁取りされているので、確かにパンダに似ています。本物のパンダは黒い縁取りが楕円形で、両端は下がっているのが可愛く見えるのしょう。正面から見たミコアイサは両端が吊り上がり、黒いサングラスでも掛けたようです。そのため真横から見た時と違い、少しキツイ顔つきに見えてしまいます。



頭が茶色のメスもなかなか可愛いね。



横顔と正面向き。

今、上野動物園の赤ちゃんパンダ「シャンシャン」で大いに盛り上がっています。可愛さではとても本物にはかないません。

野鳥が動物に似ているのは単なる偶然でしょうが、これを契機にミコアイサ(パンダガモ)の知名度もどんどん上がってほしいものです。



黒いサングラスに見えてきました。



羽繕い中。